

がん対策推進のための連携協定について

協定締結に当たっての背景

がんは死因の第1位となっており、3人に1人ががんで死亡している現状

がんによる死亡者を減少させるためには、がん予防の普及啓発やがん検診の受診率を向上させ、がんを早期に発見することが極めて重要

「北海道がん対策推進計画」(H25.3)

がん検診受診率を50%以上とすることを目標の1つとして掲げているが、現状の受診率は目標を大きく下回っており、受診率を向上させる対策を進める必要がある。

連携協定による取組概要

企業の社会貢献活動の一環として、がん検診受診率向上のための取組等に賛同を得た企業と北海道とが連携協定を締結し、協働による道民への普及啓発事業を実施する。

北海道

協定締結

連携企業

【協定締結企業】

東京海上日動火災・北洋銀行・アフラック
第一生命・住友生命・北海道信用金庫協会(道内23
信金)・北海道法人会連合会・北海道青色申告会連合
会・北海道税理士協同組合・MSD・北海道麒麟ビバ
レッジ・エーザイ・アクサ生命・北海道コカ・コーラボトリン
グ・サントリー・富国生命

【連携協定の内容】

がんの正しい知識の普及啓発、がん検診の受診勧奨など、がんの早期発見・早期治療の理解促進に向けた取組の実施

- ・顧客応対窓口や個人宅・事業所訪問時における普及啓発チラシ配布による普及啓発活動
- ・街頭キャンペーン等の各種啓発イベントの開催 等

参考:これまでの道の主な取り組み

北海道がん対策推進計画に基づき、以下の取り組みについて総合的かつ計画的に実施

がん医療

- ・がん診療連携拠点病院の整備によるがん医療の均てん化(道内21箇所)
- ・がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修の実施
- ・がん患者やその家族等に対する相談支援体制の充実

がん予防

- ・喫煙の健康影響についての普及啓発、禁煙支援等のたばこ対策の実施
- ・発がんリスクの低減のための生活習慣改善に係る普及啓発

がんの早期発見

- ・がん予防道民大会やタウンミーティングの開催による、がんに関する正しい知識、がん検診の必要性についての普及啓発
- ・市町村に対するがん検診を受けやすい環境づくりへの支援